

令和 5 年度原子力施設等防災対策等委託費(被ばく解析手法の整備)  
事業に係る入札可能性調査実施要領

令和 4 年 12 月 23 日  
原子力規制庁長官官房技術基盤グループ  
シビアアクシデント研究部門

原子力規制庁では、令和 5 年度原子力施設等防災対策等委託費(被ばく解析手法の整備)事業の受託者選定に当たって、一般競争入札(価格及び技術力等を考慮する総合評価方式)に付することの可能性について、以下のとおり調査いたします。

つきましては、下記 1.事業内容に記載する内容・条件において、的確な事業遂行が可能であり、かつ、当該事業の受託者を決定するに当たり一般競争入札(価格及び技術力等を考慮する総合評価方式)を実施した場合、参加する意思を有する方は、2.登録内容について、4.提出先までご登録をお願いします。

## 1. 事業内容

### 1.1. 概要

重大事故の影響及び防護措置による影響低減効果を評価するため、確率論的環境影響評価コード OSCAAR(以下「OSCAAR コード」という。)を整備する。基本仕様は 1.2 のとおりであるが、詳細については、原子力規制庁の担当者と適宜協議の上決定する。

### 1.2 事業の具体的内容

#### (1) 時系列情報の活用に関する検討と試解析

放射性物質の放出条件が特徴的な複数の事故シナリオに対して、線量等の推移を確認しながら防護措置の内容及びタイミングを設定し、防護措置によるリスク低減を分析する。特に、UPZ の屋内退避が長期化するケースについて、その検討に資する試解析を OSCAAR コードにより行う。

#### (2) 被ばく評価モデルの改良

がん死亡リスク及び個人別甲状腺癌発生確率を年齢別に出力できるように OSCAAR コードを改良する。

#### (3) 防護措置効果検討に係る解析および調査

OSCAAR コードの避難解析モデルを利用して、地域の緊急時対応において避難経路が定められたサイトに対して国内サイトの避難経路を考慮した解析を実施する。さらに、OSCAAR 入力データとして避難時間推計の結果を活用するために、現行の避難時間推計の課題を調査する。

なお、本事業の実施にあたっては、国内外における確率論的環境影響評価に関係する会議等が開催される場合にはこれに参加し、評価モデルの検討に関連する情報を入手する。

### 1.3 事業の進捗管理

原子力規制庁に対して事業の進捗状況を報告し、漏れの無いように計画内容を遂行する。

### 1.4 無償貸与が可能な物品

原子力規制庁が必要と認めた資料等

※貸与物品及びその成果物については、本業務の目的以外には使用せず、本業務終了後に

受注者の責任において返却すること。

#### 1.5 事業期間

契約締結日から令和 6 年 3 月 29 日まで

#### 2 登録内容

- ・ 事業者名
- ・ 連絡先(住所、TEL、E-mail、担当者名)

#### 3 留意事項

- ・ 登録後、必要に応じ事業実施計画等の概要を聴取する場合があります。
- ・ 本件への登録に当たっての費用は事業者負担になります。
- ・ 本調査の依頼は、入札等を実施する可能性を確認するための手段であり、契約に関する意図や意味を持つものではありません。
- ・ 提供された情報は庁内で閲覧しますが、事業者に断りなく庁外に配布することはありません。
- ・ 提供された情報、資料は返却いたしません。

#### 4 提出先

郵送または E-mail にてご提出願います。

**【提出先】** 〒106-8450 東京都港区六本木 1-9-9

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門

和田山晃大宛て

**【TEL】**03-5114-2224

**【E-mail】**wadayama\_kodai\_pt7@nra.go.jp

(登録例)

令和 年 月 日

原子力規制委員会  
原子力規制庁長官官房技術基盤グループ  
シビアアクシデント研究部門

令和5年度原子力施設等防災対策等委託費  
(被ばく解析手法の整備)事業について

令和4年12月23日付、標記実施要領に従い、以下の事項を登録致します。

登録内容

① 事業者名 ○○

② 連絡先

住所 ○○

電話 ○○

Mail ○○

担当者名 ○○